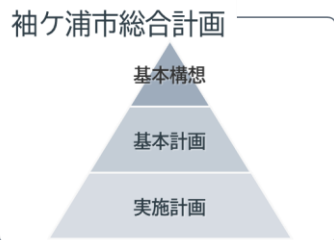


基本的な考え方

● 計画の位置付け



袖ヶ浦市総合計画（後期基本計画）の行政運営・財政運営の章に掲げる「目指すまちの姿」の実現を支援するため、行政基盤（ヒト・モノ・カネ）の最適化を図る個別計画として位置づけます。

POINT!

行政改革の全体像をわかりやすく示し、効率的に改革を推進するために、第8次行政改革は大綱とアクションプランを一つにまとめた「行政改革プラン」として策定します。

計画期間

総合計画との一体的な推進を図るため、総合計画の後期基本計画の期間と合わせ、令和8年度（2026年度）から令和13年度（2031年度）までの6年間とします。

成果指標

指標名	現状値	目標値 (令和13年度)
信頼できる市政運営を行っていると思う市民の割合	62.3% (令和6年度)	70.0%
ICT化により効率的な行政サービスが提供されていると思う市民の割合	58.0% (令和6年度)	64.0%
経常収支比率	91.3% (令和6年度)	90.0%

● 行政改革の方向性・改革の柱

行政改革プランの方向性として、“「目指すまちの姿」の実現を支援する行政基盤（ヒト・モノ・カネ）の最適化”を掲げ、「効率的な行政運営」、「柔軟な組織運営・人材育成」、「持続可能な財政運営」の3つの柱を軸に各推進項目（アクション）を設定し改革を進めます。

行政改革プランの方向性

「目指すまちの姿」の実現を支援する行政基盤（ヒト・モノ・カネ）の最適化

改革の柱

効率的な行政運営

業務効率化に資する取組

業務の見直しや事務の統合、デジタル技術を活用した業務効率化に取り組みます。

柔軟な組織運営・人材育成

組織力向上に資する取組

限られた人材で行政サービスを維持・向上させるために、職員の育成、環境整備等を図り組織力向上に取り組みます。

持続可能な財政運営

財政基盤強化に資する取組

将来にわたって持続可能なまちづくりを推進するために、財政基盤の強化に取り組みます。

推進項目（アクション）

効率的な行政運営

- 窓口業務の改善（自治体フロントヤード改革）
- 全庁共通事務の標準化等による最適化
- 事務の集約・一元化
- ペーパーレス化の推進
- 会議の効率化
- 市政に関するデータベースの整備
- 各種計画の点検・見直しの検討
- 他自治体等との視察・交流による業務改善の実行

柔軟な組織運営・人材育成

- 会計年度任用職員の雇用・配置・業務の見直し
- 昇格制度の見直しの検討
- 職場環境の改善
- マネジメント力・業務改善意識の向上
- デジタル人材の育成

持続可能な財政運営

- 財務事務の的確な実行
- 補助金・手数料等の見直し
- 経常経費の抑制
- 歳計現金・基金の計画的な運用